

## 放課後等デイサービス自己評価表

評価：○…はい、×…いいえ、△…どちらともいえない

	チェック項目	決定	改善目標、工夫点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○	・ワーク目的に応じて、利用する部屋を工夫している。
	② 職員の配置数は適切であるか	○	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○	・定期的に個別支援会議を実施している。 ・朝礼・終礼時にワーク課題を共有している。 ・不参加の職員には内容を文書で伝達している。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○	・保護者リラクセス会や、セミナーなどを実施。 ・保護者のニーズに合った活動を提供できるよう、他拠点と協力して実施している。 ・アンケートを通して改善を行っている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	△	・同事業所の他拠点スタッフから評価結果を受けている。 ・今年度監査を実施
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○	・毎月スタッフ勉強会を実施している。 ・月一勉強会や研修情報を共有出来ている。 ・月1勉強会を実施。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	・保護者のニーズをスタッフ間で共有し合いそのために実施できることを考え提供している。 ・ワークフィードバックや振り返り面談時に伺った要望をスタッフ間で共有している。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	・K-ABCや応用行動分析など、状況に合わせて専門職員による検査を実施している。 ・専門職員によるアセスメントを実施。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	・他拠点を含めた勉強会を実施している。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○	・個別、集団にて設定を行う。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	・複数スタッフがいる場合は、事前に行っている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	・終礼時に共有をしている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○	

	①9	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○	
関係機関や保護者との連携	②0	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	・児童発達支援管理責任者と担当スタッフが参加している。
	②1	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○	・要望があれば、学校連携を実施している。
	②2	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	△	・保護者から要望がある場合体勢を整えているが現在受け入れていない。
	②3	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	△	・現在就学している小学校との連携が主になっている。
	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する体制を整えているか	○	・ヴィストキャリアに移行可能。
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	△	・コロナの影響もあり、地域交流イベントを控えていた。
	②7	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○	
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	・要望があれば、個別にペアレント・トレーニングを実施した。
	保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○
③1		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	
③2		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	・今年度、保護者リラックス会を実施。 ・要望やスタッフの提案により実施。定期的に開催を行っている。
③3		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	
③4		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	・定期的にカレッジだよりを発信している。ブログにて活動紹介を行っている。
③5		個人情報に十分注意しているか	○	
③6		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	・定期的に保護者同士が関わる機会を提供。今年度はオンラインが主となっていた。
③7		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	・コロナで回数が減った。
	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	・季節ごとにお便りを作成。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	・半年に1回、避難訓練を実施している。 ・年2回の防災訓練を実地。 ・今後児童の参加を検討。

非常時の対応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	・身体拘束が必要に感じる利用者に対して事前に担当スタッフと話をしている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	・保護者にアレルギーの有無を確認し対応を行っている。 ・調理や飲食を伴う際は事前に保護者へ確認を行い実施している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	・全拠点で行っている。

ヴィストカレッジ富山県庁前

